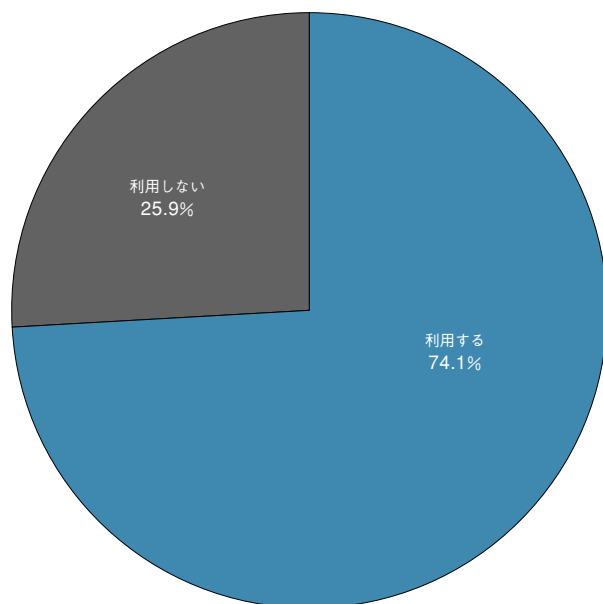


ニュースサイト

ニュースサイトの利用者は7割以上

資料2-4-12 ニュースサイトの利用の有無 N=1,600

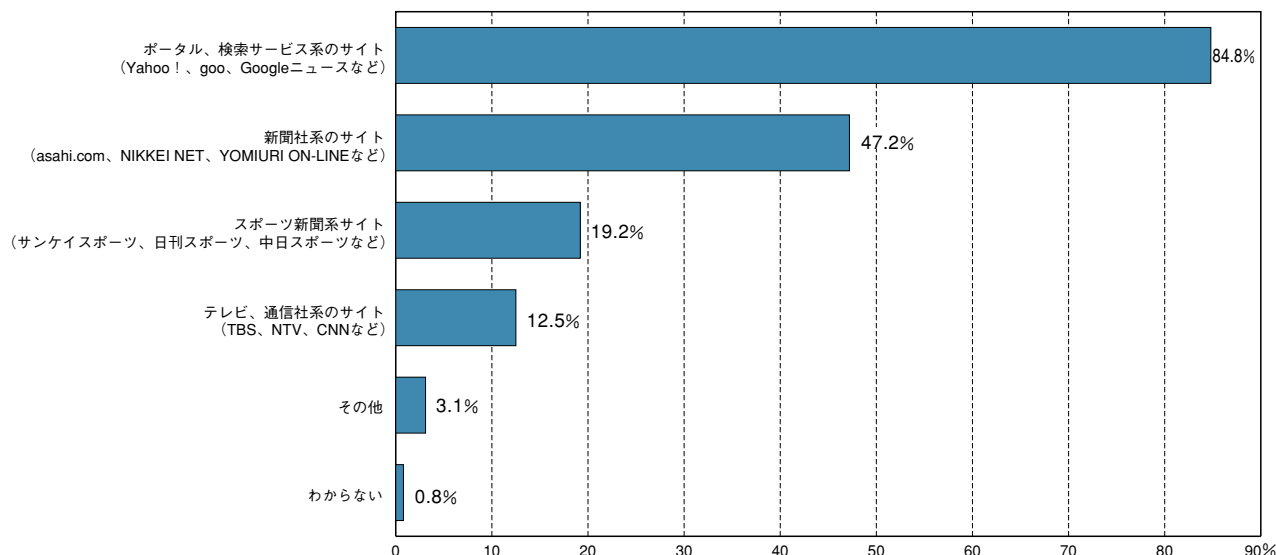


ニュースサイトは74.1%の利用者が閲覧しており、昨年とほぼ同様であった。従来のマスメディアからインターネットへと、情報摂取方法の移行がみられるが、ニュースサイトは詳細情報をタイムリーに知ることができる、インターネットならではのメリットが発揮される情報の1つであり、利用率が高いのはうなずける結果である。

©impress,2005

ニュースサイトはポータル系の利用がトップ、新聞社系サイトは減少

資料2-4-13 よく利用するインターネットのニュースサイトの種別（複数回答） N=1,186



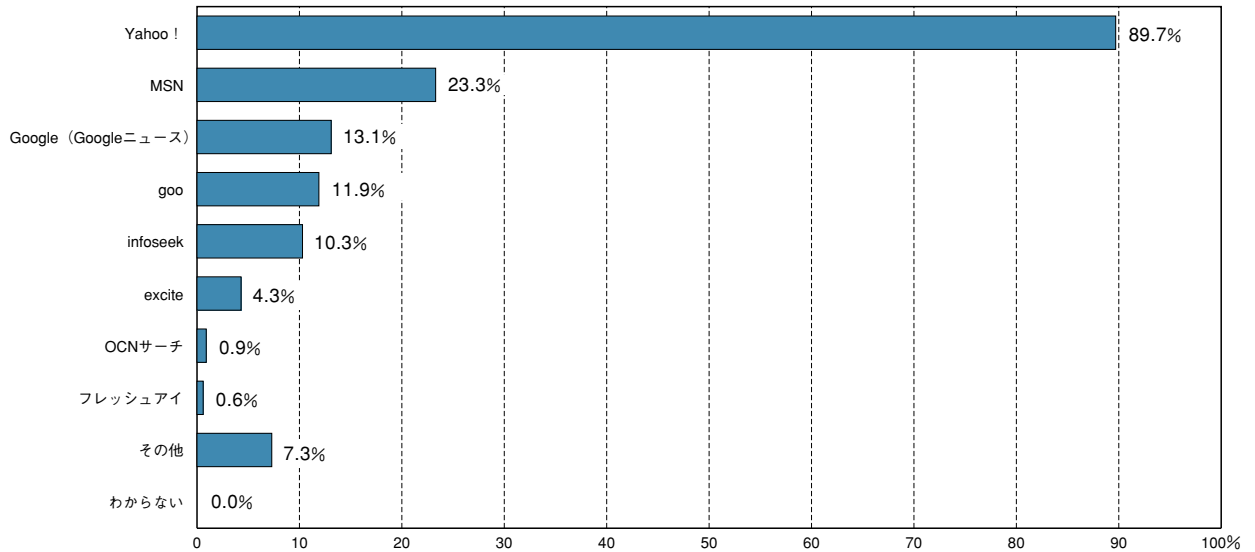
ニュースサイト利用者によく利用するニュースサイトを聞いたところ、「ポータル、検索サービス系のサイト」が84.8%と最も多く、昨年よりもさらに増加した。一方、「新聞社系のサイト」は2位にあげられているものの、昨年に比べ10ポイント以上減少している。まずポータル系のトップページに掲載されているニュースを閲覧するというのが一般的な見方のようなのである。

©impress,2005

【ニュースサイト】

ニュースを読んでいるサイトは「Yahoo!」が圧倒的

資料2-4-14 ニュースを読んでいるポータルサイト（複数回答） N=1,006

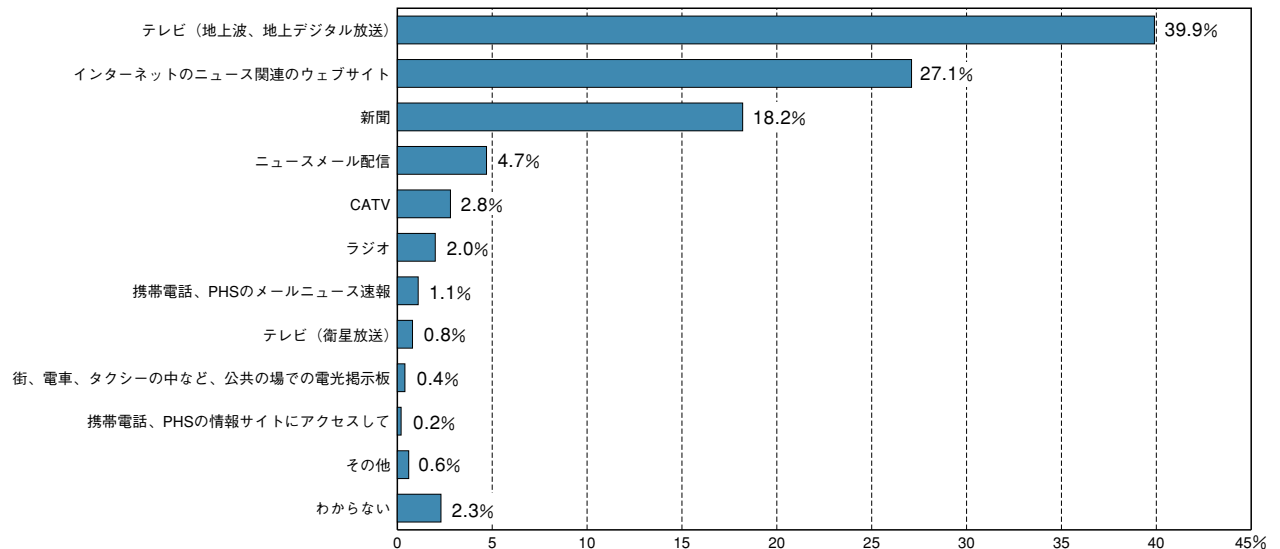


ポータル・検索系サイトでニュースを読んでいる人にサイトを聞いたところ、「Yahoo!」が89.7%と最も多く、「MSN」や「Google」といったほかのサイトを大きく引き離している。「Yahoo!」は、検索するためのサイトであると同時に、閲覧のためのサイトであるとのユーザーの認識が、ほかのサイト以上に強いものと推測される。

©impress,2005

ニュースの入手法の1位はテレビ、インターネットは新聞を抑え2位に

資料2-4-15 ニュースを手に入れるために利用頻度の高いメディア（単一回答） N=1,600



利用頻度の高いメディアは、「テレビ」が39.9%で昨年同様トップ。「インターネットのニュース関連のウェブサイト」が27.1%で「新聞」を抑えて2位に上がっており、昨年より利用率も4ポイント増加した。ニュースはインターネットで見る、という人がますます増える傾向にある。

©impress,2005



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp